

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 7月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	0172000705		
法人名	有限会社 グループホーム花		
事業所名	グループホーム 花		
所在地	小樽市最上1丁目25番4号 (電話) 0134-27-2104		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年6月29日	評価確定日	平成21年7月29日

【情報提供票より】 (21年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 5人, 非常勤 4人,	常勤換算 6.73人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円		光熱水費 27,000円
	その他の経費(月額)		暖房費(10~5月) 9,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当た 1,200 円		

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	5名	要介護2	4名
要介護3	0名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 83歳	最低 77歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小樽病院・朝里病院・三ツ山病院・マサキ歯科医院・野口病院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開放的な明るい居間を中心に、利用者と職員が仲良く楽しく暮らしているグループホームです。いわゆるお客様をつくらず、一人ひとりの個性を生かした介護計画に基づき、地域の中で孤立することなく、地域住民を巻き込んだ行事の実施など、地域密着型の取り組みが見られます。職員は持ち味を生かした日々の業務の継続により、より良いサービスの向上を目指しています。管理者はじめ職員の感性の良さが楽しいアットホームになっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	理念の中に地域密着型の言葉が挿入され、また、言葉だけでなく至るところに実践が見られます。重度化や終末期に向けた取り組みでは、入居時に同意書を取り交わしてホームの方針を共有しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の評価後、課題を見出して評価の意義を確認し、更なる向上を目指して項目について職員全員で話し合っています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヵ月毎に開催される運営推進会議では、行政からの出席はありませんが、地域の代表者や家族などの意見を取り入れ、ホームとしての行事などに地域の住民の参加があります。双方にとって好評を得ています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「グループホーム花たより」を毎月発行して家族に暮らしぶりを報告しています。家族が訪問した時には、管理者や職員と話し場を多く持ち、その中から参考になることを生かした取り組みをしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの屋外行事(いちご狩り・フリーマーケットなど)に地域住民が参加していただき交流があり、良好な関係が作られています。また、老人会に加入している利用者は職員とともに参加し、楽しい時を共有しています。災害時の応援体制も出来つつあります。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	すでに実践している地域密着型の意義を確認し、ホームが地域の中で果たす役割を考慮した理念を作りあげています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を良く理解し、具体的な日々の暮らしの中で実践しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの屋外行事（いちご狩り、フリーマーケットなど）に地域住民が参加していただき交流があり、良好な関係が作られています。また、地域の老人会に加入している利用者は毎月職員とともに参加し、楽しい時を共有しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価後、課題を見出して取組みを開始し、評価の意義を職員全員で理解しています。また、今回も更なる向上を目指して項目について職員全員で話し合っています。		

小樽市 グループホーム 花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月毎の運営推進会議では、行政からの出席はありませんが、地域の代表者や家族などの出席をいただき、ホームの理解が深まる内容の報告をし、活発な意見交換をしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険制度やホームで判らないことなどは、市に出向いて相談し、指導を受けてサービスに努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「グループホーム花たより」を毎月発行し、他に金銭出納や利用者の暮らしについて、一人ひとりの家族に報告をしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問した時、ホームの様子を見ていただき、要望や意見などを伺い、可能な限り運営に生かしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者、介護主任、事務長などが配慮をして、利用者に影響がないように支援しています。職員の異動は最小限に抑える努力をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修については、内部と外部の年間計画に基づいて職員のレベルアップを常に意識して取り組んでいます。なお、外部研修は費用などホームが負担して職員の教育に力を入れています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会やスタッフ研修会などで交流を図り、相互に職員の交換による研修などを実施しています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用が開始される前に、利用者と家族が納得のいく上で、特に階段利用可能か否か、など考慮しています。さらに、違和感なく生活ができるように、見学や体験などを取り入れています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者は、共に過ごす時間を多くすることで利用者の気持ちを把握し、支え合う関係を大切にしています。言葉の少ない方は、家族から情報をいただいています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の言葉や表情などから、その真意を推し測ったり、暮らしの希望や意向を確認しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう利用者や家族の要望を聴き、職員全員で意見交換をし、介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の暮らしの記録や介護計画の見直し期間に基づいて、検討しています。しかし、状況の変化があった場合は、その都度見直ししています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて、通院や個別の外出支援など柔軟に対応し、満足できる暮らしを支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医療機関やかかりつけ医での医療を受けれるよう、家族と協力し、通院介助を行ったり、訪問診療に来ていただく場合など、安心できるよう医療面の支援をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に「認知症対応型共同生活介護が行う終末ケアに関する同意書」を取り交わし内容について説明を行っています。また、状況に応じて関係者と話し合いをしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応などを慎むように努力し実践しています。また、記録の管理や情報の保存はパソコンで行なっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者優先に暮らしを組み立て、自由に伸び伸びと楽しく仲良く生活しています。言葉かけで外出なども自然体で実施されています。		

小樽市 グループホーム 花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの中に、利用者の希望を取り入れ、一緒に準備をし、調理や盛り付け、片付けなど当番を決めて、トラブルのないように民主的に進めています。台所仕事を楽しまつつ和気あいあいに食事をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝の血圧測定時に入浴の希望を聴いたり、利用者の健康状況を判断して、おおむね週2～3回入浴を支援しています。馴染みやすい浴室となっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の得意分野でそれぞれが能力を生かして、お願いできることを頼み、感謝の言葉を添えて満足のいくように支援をしています。台所仕事には当番を決めています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候やその日の気分、また計画している屋外行事など自立歩行が可能な利用者は外出の機会が多くあります。なお、車椅子の外出も可能な限り実施しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関は施錠していません。なお、居間の隣が玄関でガラス張りで見とおしが良く、利用者の住まいとして定着しています。		

小樽市 グループホーム 花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署と連絡を取り、訓練を実施しています。また、地域住民が協力する体制作りが出来つつあります。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	居間と憩いの場には、自由にセルフサービスで飲み物が用意されています。献立は、利用者の希望を取り入れた食事が提供され、十分満足した支援がされています。また、定期的に行政の栄養士の指導を受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関から続いた居間兼食堂は、明るい日差しが差し込み、ホームの中で常に利用者がいる憩いの中心をなしています。さらに、2階にもゆったり出来るスペースがあり、暖かい雰囲気のある、全体的に落ち着いた愛らしい装飾がセンス良く行なわれ、利用者の心がなごむホームです。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室は、入口にノレンなどをかけ、室内は思い思いの馴染みの仏壇やタンスなどを配置して落ち着いた自分の居場所になっています。2階で階段の昇降が体力の補強になっています。		

※ は、重点項目。